

平成 26 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

特定非営利活動法人中空知・地域で認知症を支える会

【設立年月日】2004 年 4 月 1 日

【授賞理由】

住民が認知症への関心と理解をもつことが早期診断・治療に結びつくという考えを基に、貴会は公的サービスだけでは行き届かないサービスの隙間を埋める活動として、地域ボランティアの育成・普及活動を地道に行ってきました。このコミュニティーで機能するまでボランティアを育て上げるという活動は、あらゆるボランティア活動の規範となるものです。

【団体概要】

中空知地区における医療、保健、福祉の関係者および家族介護者に対し、認知症疾患の診断・治療・介護・予防の啓発支援などに関する事業を行うとともに地域保健・医療福祉の進化、発展に貢献することを目的に、2004 年から活動が続けている。

【事業活動】

- ・認知症をあきらめない！ 市民健康フォーラム
- ・市民向け認知症の基礎的知識普及のための講座
- ・認知症支援ボランティア“ぽっけ”の会員養成講座、定例会と活動全般の助言等の後方支援
- ・かかりつけ医およびケアスタッフ向けの研修会
- ・介護と医療の意見交換を行う訪問座談会
- ・顔の見える関係づくりを目指す認知症多職種事例検討会
- ・砂川市立病院認知症疾患医療センター連携協議会の参画
- ・認知症連携パス「支えあい連携手帳」発行と普及
- ・北海道中空知地区認知症地域社会資源マップの公開

【業績および功績】

発足から毎年「認知症をあきらめない！ 市民健康フォーラム」を開催し、認知症に関する啓発活動を行っている。2008 年には、認知症地域支援体制構築等推進事業の補助を受け「認知症社会資源マップ」を作成した。また、2009 年には、介護保険サービスの隙間の支援として「認知症支援ボランティア養成講座」を開催した。その後、受講者らによる「認知症支援ボランティア“ぽっけ”」が 2010 年に発足した。現在、さらにボランティアを養成し、各地の支部組織化に向け管内関係機関と協力し、講座を各地で開催している。そのほかにも、ケアスタッフ等に対して研さんの場や認知症ケアの連携を図るためにさまざまな活動を行っている。これらの活動により地域全体の興味・関心が高くなり、研修会や市民向けの講座等は今も増えている。